

< 運営推進会議における評価 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	有限会社センターキュア	事業所名	センターキュア看護小規模多機能型居宅介護事業所
所在地	(〒 294-0052) 千葉県館山市亀ヶ原 751-1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- * 住み慣れた地域の中で、住み慣れた自宅で、その人らしく暮らせるように支援いたします。
- * 24 時間、看護・介護で共同し柔軟にサービスを提供いたします。
- * 医療管理が必要でも自宅で暮らせるように、介護者の負担軽減を図りながら支援いたします。
- * 各職種で連携を図り、ご家族、地域、医療機関、各事業所の方々、包括支援センターとの連携も密にして、地域包括ケアの役割を果たしてまいります。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	2025 年 10 月 1 日	従業者等自己評価 実施人数	(19) 人	※管理者を含む
----------------	-----------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	2025 年 10 月 27 日	出席人数 (合計)	(7) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (3) 人 <input type="checkbox"/> 市町村職員 (1) 人 <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (2) 人 <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (____) 人 <input type="checkbox"/> 利用者 (1) 人 <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (____) 人 <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (____) 人 <input type="checkbox"/> その他 (____) 人			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> *理念について、見やすく詳細に表現して掲示する。 *研修委員を新たに選任して年間計画をつくって実施。 *BCP マニュアルの完成後の改定を繰り返し実務にのっとって使えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> *理念を細かく詳しくして掲示する。 *前年のマニュアルを元に、介護スタッフ2名で再編成して研修実施。 *感染者が出る度に改定を作成し全スタッフに公表。 	※決定したらわかりやすく	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	利用者の 24 時間の暮らし全体に着目するように情報収集し、アセスメントする。看護・介護が共通理解して内容を分担する。	ミーティングでカンファレンスを重ねて理解を深める。提供できるサービスを確認しあう。	※取り組み後の評価も必要
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	*病院・施設等の連携の為にカンファレンスに参加する。	カンファレンスにも、多職種で時間を合せて参加。	※継続してください
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	ホームページが出来たばかりで運用に慣れる。	施設内の掲示を公表していく。インスタグラムの作成と公表。	※利用者様、家族周知お願い
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	医療管理と看取りの安心感を得られるようにする。	ケースに応じて計画目標を設定する。	※データを共有	

--	--	--	--

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		<ul style="list-style-type: none"> *業務内容の改善に向けて、人事考課を取り入れており年度目標として全職員に目標設定をする。 *看護と介護での情報共有と情報提供を行いケアの方向性を統一する。 *感染・防災委員を中心に訓練の実施とオリエンテーション時に新入職員へ実施する。 	*人事考課、継続
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> *利用者・家族と信頼関係を構築し、在宅生活を安心して過ごせるサービス提供を行う。 *専門的で質の高いサービスを提供するために、研修の参加率の向上や参加できない方の補習ができるようなシステムをつくる。 	*利用者、家族アンケート
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> *関係機関との連携をとり、地域の中での役割が理解できる。 *緊急時の対応について、全職員が情報を共有し対応ができるようなシステムをつくる。 	*窓口、連絡先の表示、共有
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> *看護小規模多機能型居宅介護事業所としての役割を理解し、医療ニーズの高い利用者を積極的に受け入れていく。 *地域活動を通して、地域との交流をもつ。 	地域活動参加
III. 結果評価 (評価項目 42～44)		<ul style="list-style-type: none"> *医療ニーズの高い利用者が住み慣れた地域での生活を維持できるよう支援体制を整える。 	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
I 事業運営の評価【適切な事業運営】							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	5	9	4	1	見える化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	1	12	6	0		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ でき てい る	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	0	10	3	6	*「全くできていない」が多すぎる、調整して	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> * 人事評価制度を取り入れ面談 * 研修・ミーティングを通して知識の向上を心がけている					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	2	13	2	2	*継続、フォローアップ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> * 社内外の研修の実施と参加 * 喀痰吸引の研修や実習					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	9	8	2	0	※継続	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> * 定期的カンファレンス・申し送り・ミーティングの実施 * LINE やメールでの情報共有 * 報告・相談を実施し常時情報共有している					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あま り で き て い ない	全 く で き て い ない		
		る。					
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	0	12	3	4	* 「よくできている」が0?	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> * スタッフ MT で会議情報の共有・反映への努力 * 要望・助言に取り組み評価できている					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	8	10	1	0	* 継続	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> * 定期的な面談・アンケートの実施 * 就業時間外申請など安心して申請できる					
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
8	○ 利用者等の情報について、 随時更新を行うとともに、 必要に応じて職員間で迅速 に共有できるよう工夫され ている	5	13	1	0	*セキュリティ面、継続	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間 で迅速に共有するための工夫」 の2つの視点から、充足度を評 価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> *メールやLINEでの情報共有 *利用者ごとの記録板の情報を担当者が 毎月最新に更新					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者 等および職員の安全確保の ため、事業所においてその 具体的な対策が講じられて いる	4	11	4	0	*点検、チェック	✓ 「各種の事故に対する予防・対 策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、 例えば「医療・ケア事故の予防・ 対策」、「交通安全」、「夜間訪問時 の防犯対策」、「個人情報保護」な どが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> *ヒヤリハット提出・適宜研修 *インシデント内容をスタッフ間で共有 *アルコールチェック表の記入					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時において も、サービス提供が継続で きるよう、職員、利用者、関 係機関の間で、具体的な対 応方針が共有されている	3	11	3	2	継続	✓ 「緊急時におけるサービス提供 のための備え」について、充足度 を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確 化」、「連絡先リストの作成」、「医 療材料などの確保」、「災害時ケ
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> *BCPの共有 *避難訓練の実施 *備品確保・マニュアル確認 *発電機使用方法の練習					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
							アのマニュアル化」などが考えられます
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	0	14	5	0	夜 訓練検討	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	2	11	4	2	事故対応共有	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
							職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	0	13	4	2	よくできているが「0」：フォローアップ リハビリの研修会したらどう？	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> *本人・家族の要望を踏まえた計画作成ができている *リハビリ・宿泊・訪問等の実施					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	2	12	3	2	よくできているが「2」：フォローアップ リハビリの研修会したらどう？	✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> *利用者ごとの自立に向けたリハビリ目標の設定 *ADL 低下がみられる利用者へリハビリ専門職の方を依頼対応					
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	0	14	3	2	看護だけではなく介護も	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供され
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> *疾患の進行による状態の変化をふまえた計画を立てている					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
		*日々利用者の変化を観察し報告している *状況の予測はできているが、リスク管理を踏まえた計画の作成が不十分					る看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	2	10	6	1	研修会開催 フォロー	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] *利用者との状況を共有し早期対応している *利用者との状況変化の把握はできているが計画の反映が不十分などところがある					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	1	11	5	1	研修会開催 フォロー できない の確認 継続	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		[具体的な状況・取組内容] *CM月1回の自宅訪問して、訪看がモニタリングしている *在宅での生活状況の把握しスタッフ間で共有					
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標						✓ 「利用者等の状況変化や目標の

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
	の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている						達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	4	11	4	0	垣根をなくす姿勢良い	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	7	12	0	0	継続	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	5	13	1	0	「あまりできていない」のフォロー	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	11	6	0	「あまりできていない」のフォロー	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	0	11	6	2	「あまりできていない」のフォロー	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ＊書面にした際、口頭でも説明を行っている ＊計画書についての説明や訪問の際に留意点など説明している							
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	0	12	4	3	連携して	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ＊在宅ケア方法については都度助言している ＊インスリン見守りの際、手順を確認しながらできている ＊医療機器を使う際に共に使い行う							
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	3	12	2	2	医療面共有	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ＊利用者・家族の意向に沿ったサービスの提供ができている ＊家族に説明と同意は得ている							
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等に	1	12	4	2	医療面共有	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ＊心身及び生活状況などから適宜対策の							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	ついて、利用者等と相談・共有することができている	提案を行えている * 看取りの方などは、特に話し合いながら進めている					評価します
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	1	11	5	2	進めて	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	3	11	5	2	継続	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	4	8	6	1	Drの敷居高いのか？ フォロー	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	2	14	3	0	継続してください	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職	2	11	2	4	No.6 出来る取り組みをする	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていきな

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
	員等への情報提供や提案が行われている	っている					どの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見るような方法での情報発信が、迅速に行われている	2	12	4	1	「議事録のファイルを開覧」のチェックをする。	✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ＊ミーティングや議事録を見る事で情報共有ができる ＊フロアーの掲示板にでている ＊議事録のファイルを開覧できるようになっている					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	4	5	5	5	「あまりできていない」「全くできていない」が課題	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ＊SNS で積極的に行っている ＊インスタグラムの活用 ＊CM 協議会等の場で説明する機会があ					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよ そ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		った					✓ 利用者や職員の確保のみを目的 とした活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	7	9	0	3	外部への発信 空いている状況発信	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れること	7	8	3	1	継続 病院と連携	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	ができる体制が整っており、積極的に受け入れている	<ul style="list-style-type: none"> * 喀痰吸引研修を実施している * 看護師の体制が整っている * 医療依存度の高い利用者の受け入れ可能 					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	2	12	4	1	連携	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> * 現在、呼吸器の利用者がほとんどおらず、受け入れはできていない * 医療依存度高い利用者の受け入れ可 * 受け入れの体制は整っている 					
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	2	11	5	1	継続して	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> * 看取り支援について受け入れ体制は整っている * 日々の状態や予測されるご事を NS と介護で共有し対応 * 24 時間体制をとり受け入れている 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ でき てい る	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
							の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	0	10	5	4	研修で学んで	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	6	9	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
							✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	0	6	3	10	アナログ発信必要では？	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対	1	8	3	7		✓ 「家族等や近隣住民に対する、

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	し、その介護力の引き出し や向上のための具体的な取 組等が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> * 介護指導やケア方法をできるかぎり提供 している * 介護での悩みや不安の傾聴し、都度介護 指導している * 今後取り組んでいきたい					介護力の引き出しや向上のため の取組」について、その充足度を 評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近 隣住民の関わりを促しながら、 関係者全員の介護力を最大限に 高めることにより、在宅での療 養生活を支えていくための環境 を整えていくなどの役割も期待 されます ✓ そのような取組をしたことがな い場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> *ADL が維持できるように取り組んでいる *利用者の思いを傾聴している *リハビリ強化 *全利用者の目標をまだ把握していない	話し合い達成するようにしてください	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない	アピールしてください	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」に

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	得られている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> * 訪問看護体制がしっかりしているので、 状況の変化に柔軟に対応できる * 必要に応じて医師との連携を図るように している		ついて、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> * 訪問看護・訪問介護の体制がしっかりとれている * 本人・家族の意向を聞きそれに近い看取りができるように努めている	No.37 比較 外部へアピール	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内(通い・泊まり)での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」